**学習指導案の形式例（中学校　技術・家庭科　家庭分野）**

**○○中学校　技術・家庭科（家庭分野）　学習指導案**

令和○○年○月○日○曜日

第○校時　○時○分～○時○分

○年○組　○名

指導者　○○　○○○

１．題材名

　 ・題材：指導内容のまとまり。

　　　　　→技術・家庭科（家庭分野）においては、題材を構成し，分野の目標の実現を目指す。

　　　　　　題材の設定に当たっては，各項目及び各項目に示す指導事項との関連を見極め，相互に有機

　　　　　　的な関連を図り，系統的及び総合的に学習が展開されるように配慮する。

　※　該当する内容（項目）を全て明記する。

　（例）題材名　「健康・快適で持続可能な衣生活」

　　　　　　　　「Ｂ衣食住の生活」（４）「衣服の選択と手入れ」ア及びイ

　　　　　　　　　　　　　　　　 （５）「生活を豊かにするための布を用いた製作」ア及びイ

２．題材設定の理由（指導の立場）

　※　題材を設定した趣旨を，生徒観・教材観・指導観の３つの観点から記述する。

　※　３つの観点がバラバラなものにならないようにする。

　　・生徒観

　　　題材に関連する生徒の日常的な生活経験及び教師から見た生活実態における問題点などを明らかにする。また，授業展開において予想される生徒の興味・関心が，発達段階や生徒の学習状況から見て適切かどうかなどについて記述する。

　　・教材観

　　　選定した題材を学習させることの意義と教育的価値について，社会的動向，家庭生活との関連から明らかにし、その要因を分析して記述する。生徒に付けたい力もこの中に含まれる。また，関連する既習内容や小学校との関連性，他教科などとの関連から題材の役割を明らかにする。

　　・指導観

　　　生徒観・教材観との関連を基盤に，本題材の指導にあたって配慮すべき事項について述べる。何をねらいとし，どのような指導手順で，特色ある指導を展開しようとするのか，という指導方針あるいは独自の視点や工夫した資料・教具などに関する記述を含む。

３．題材の目標

　※　学習指導要領に示された教科の目標並びに題材で指導する項目及び指導事項を踏まえて設定する。

※　題材の指導を通して，どのような資質や能力を育成したいか「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点から示す。

* **指導者の指導の意図や育成を目指す資質・能力を明確にする**ため，指導者の立場で記述する。

　＜記述例＞

　（１）衣服と社会生活との関わり，目的に応じた着用，個性を生かす着用，衣服の適切な選択，衣服の計画的な活用の必要性，日常着の手入れ及び製作するものに適した材料や縫い方，用具の安全な取扱いについて理解するとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。　　（知識及び技能）

（２）衣服の選択，材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方，生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し，様々な解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けるようにする。

（思考力、判断力、表現力等）

　（３）よりよい生活の実現に向けて，衣服の選択，材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方，生活を豊かにするための布を用いた製作について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとするようにする。　（学びに向かう力、人間性等）

４．題材の評価規準

　※　「内容のまとまりごとの評価規準（例）」から題材において指導する項目及び指導事項に関係する部分を抜き出し，評価の観点ごとに具体化，整理・統合するなどし，３つの観点別に作成する。

※　「内容のまとまりごとの評価規準（例）」については，「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（国立教育政策研究所教育課程研究センター）を参照のこと。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・～について理解している。  ・～について理解しているとともに，適切にできる。 | ・～について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 | ・～について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。 |

文末表現の例

５．題材の指導・評価計画（　○○　時間　）

※　内容や時間のまとまりを見通しながら，生徒の主体的・対話的で深い学びが実現されるようにする。

※　教科の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から，内容や時間のまとまりを見通しながら評

　　価の場面や方法を工夫して，学習の過程や成果を評価し，指導の改善や学習意欲の向上を図り，資

　　質・能力の育成に生かすようにする。

※　題材を見通して，教師の指導改善に生かす評価と，総括の資料とするため全ての生徒の学習状況を評

　　価して記録に残す場面の位置付けを考える。

※　「新大分スタンダードのすすめ」（平成31年３月　第３版）を参考にすること。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 小題材 | 時間 | ねらい・学習活動 | 評価規準・評価方法 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に  取り組む態度 |
|  |  | ○（ねらい）  　※指導者の立場で書く。  ・（学習活動）  　※学習者の立場で書く。  文末表現の例 | ・～を（～について）理解している。  ・～を（～について）理解しているとともに，適切にできる。 | ・～について問題を見いだして課題を設定している。  ・～について考え，工夫している。  ・～について，実践を評価したり，改善したりしている。  ・～についての課題解決に向けた一連の活動について，考察したことを論理的に表現している。 | ・～について，課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。  ・～について，課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。  ・～について工夫し創造し，実践しようとしている。 |
| 衣服の一生 | １（本時） | （例）  ○健康・快適で持続可能な衣生活を送るための課題をつかむ。  ・小学校での学習や，今までの経験から，衣服を選ぶ際に困ったことや，失敗したこと等の問題点を見付け，課題を設定する。  ・･･･  ・･･･ | 健康・快適で持続可能な衣生活を送るためには，どのようなことが大切なのだろう。 | （例）  題材を貫く課題  ①健康・快適で持続可能な衣生活を送るために，衣服の選択，手入れ，再利用などについて，問題を見いだして課題を設定している。  **・学習カード** |  |
| 衣服の選択と着用 | ２・３ | ○･･･（ねらい）･･･  ・･･･（学習活動）･･･ | ①衣服と社会生活との関わりが分かり，目的に応じた着用，個性を生かす着用について理解している。  **・学習カード**  **※ペーパーテスト**  ②･･･ | （課題１）  ①衣服の選択について，問題を見いだして課題を設定している。  **・学習カード**  ②･･･  ③･･･ | （例）  ①衣服の選択，材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。  **・ポートフォリオ**  **・学習カード**  **・行動観察** |
| ･･･ | ４・５･･ | ○･･･（ねらい）･･･  ・･･･（学習活動）･･･ |  |  |

６．本時の展開（　○　／　○　時間　）

　（１）題目　※小題材名を基に端的に表す。　例「よりよい食生活を目指して」など

　（２）本時のねらい（目標）：**～を～して（に気付いて・を通して）～することができるようにする。**

　　※指導者の立場で書く。

本時のねらいが，

主たる評価となる

　　　　　　　　　　　　　　　○　本時１時間のねらう内容を具体的に記述する。

　　　　　　　　　　　　　　　○　生徒側からの表現にし，次の点について具体的に記述するとよい。

　　　　　　　　　　　　　　　　※　追究の対象・学習の対象・学習の材料

　　　　　　　　　　　　　　　　※　目のつけどころ・力となるところ　など

　（３）展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間  (分) | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価場面・評価方法等 |
|  | ※学習者（生徒）の立場で書く。  ※ねらいを達成するために行う活動を，活動のまとまりで書く。  ※文末表現の例  　・話し合う  　・出し合う  　・考える  　・作る  　・さぐる  　・調べる　など  ※１，２，３･･･の番号をつける。（順序性がある） | ※指導者の立場で書く。  　○や・で表す。  　○：中心的な働きかけや手だて（指導内容）。  　・：出方の予想や補助的な働きかけ。  ※記述する事柄の例  　○学習のきっかけ作り。  　○問いかけ（課題提示）。  　○各自での試行・作業のさせ方。  　○どの段階で発表させるか。  　○答えや根拠の整理・まとめ方。  　○ずれ・矛盾・疑問点などを明らかにしていく方法。  　○個に応じた多様な方法を想定しておき，実際に即して指導していく方法。  　○よりよい考えを選び出したり，作り上げていくときの手だて。  　○発展・応用していく方法。  　○次の時間へのつなぎ方。　　等  本時の課題は  ああああああああああああで囲む。  ※教師の一方的な指導と思われる記述ではなく，生徒の主体的な姿が現れた記述にする必要がある。 | ※本時のねらいを確認する箇所はどこかを意識する。  　本時のねらいと評価場面・評価方法の整合性を確認すること。  ※評価方法，評価の観点及び番号  　指導と評価の計画に記載したものを明記する。 |
| ○  ○  ○  ○ | （例）  １　本時の学習のめあてを確認する。  衣服選択の際の課題を考えよう | ○衣服を選ぶ際のことを振り返らせ，困った経験を発表させる。 |  |
| ２　･･･  ３　･･･  ４　･･･ |  | （例）  ■評価方法  【学習カード】  　思考・判断・表現① |
| （例）  ５　本時の学習のまとめをする。 | ○次時への意欲につながるようにする。 |  |

◇　生徒指導を中心に据えての教科学習であれば，自主性・自己決定・共感的雰囲気などを考えた活動が盛り込まれた事柄が書かれているようにする。また、「指導上の留意点」とするよりも，「支援の方法」「指導・援助の留意点」などとし，上記のことに配慮した内容になるようにする。

* 活動の場のあり方を中心に研究していれば，「どのような活動を」「どのような目的で」「どのように仕組むか」などが書かれていなければならない。評価のあり方の研究であれば，「どこで」「何のために」「どのように評価して」「それをどのように生かすか」などが書かれていなければならない。
* 評価の観点については，「生徒指導上の配慮点」「評価とその生かし方」「活動の場での配慮点」などに替えて書くことも考えられる。

★　学校独自の学習過程がある場合は，それに沿っていく。

（４）本時の評価

　○　本時の学習活動における具体の評価規準を記載する。

　　　また，生徒の学習状況の把握と支援という立場から，評価規準とともに，十分満足（Ａ）及び

おおむね満足（Ｂ）の状況と，努力を要する生徒への手だてを記載する。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価規準 | 十分満足（Ａ） | おおむね満足（Ｂ） | 努力を必要とする生徒への手だて | 評価方法 |
| （例）  ・健康・快適で持続可能な衣生活を送るために，衣服の選択，手入れ，再利用などについて，問題を見いだして課題を設定している。  （思考・判断・表現）  ・･･･ | ・･･･ | ・･･･ | ・･･･ | ・学習カード |